

SHIMANO STEPS

Shimano Total Electric Power System

ユーザーマニュアル

E6000シリーズ

目次

重要なお知らせ	5
安全のために必ずお守りください	5
安全のために	5
SHIMANO STePSとは	8
特徴	8
乗車方法	8
アシストモード	8
各部の名前と働き	9
仕様	10
ご使用方法	11
はじめに	11
バッテリーの充電	11
バッテリー残量表示	12
バッテリーの上手な使い方	12
バッテリーの取付け／取外し	13
電源のON/OFF	15
モードの切り替え方	16
サイクルコンピュータの取付けと取外し	16
各種設定を変更する	17
サイクルコンピュータの操作方法	17
SHIMANO STePSロゴ画面	17
基本画面表示	18
設定メニューの起動と終了	23
設定の変更方法	24

PCとの接続通信	29
アプリケーションのダウンロード	29
トラブルシューティング	30
バッテリー残量表示 エラー表示	30
サイクルコンピュータエラーメッセージ	31
こんなときは	33



ユーザーマニュアルは
以下にてご覧いただけます。
<http://si.shimano.com>

重要なお知らせ

- ユーザーマニュアルに記載されていない自転車への取付け、調整などにつきましては購入された販売店または代理店へご相談ください。なお、自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方向けのディーラーマニュアルはウェブサイト(<http://si.shimano.com>)で公開しています。
- 製品の分解、改造は行わないでください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこの「ユーザーマニュアル」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

安全のために 必ずお守りください

交換作業を必要とする事項は販売店または代理店へご相談ください。

液もれ、発熱、発火、破裂などによるやけどやけがを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

安全のために

⚠ 危険

バッテリーの取扱いについて

- バッテリーに直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない。液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。
- バッテリーをストーブなどの熱源のそばに放置しない、またバッテリーを火の中に投入したり、加熱しない。破裂、発火の原因になります。
- バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしない。発熱、破裂、発火の原因になります。
- バッテリーを水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 充電は当社指定のバッテリーと充電器の組み合わせで行い、当社指定の充電条件を守る。さもないと発熱、破裂、発火の原因となります。

⚠ 警告

安全に乗車するために

- 走行中はサイクルコンピュータの表示に目をうばわれない。転倒事故等の恐れがあります。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認する。転倒して重傷を負う恐れがあります。
- 電動アシスト自転車の発進特性に十分慣れてから車通りや人通りの多い道路で乗車する。急発進して事故を起こす恐れがあります。
- 夜間走行時にはライトの点灯確認を行う。

安全に使用するために

- 自転車への配線作業、組み付け作業は、必ずバッテリーを外した状態で行う。感電します。
- 製品を取付けるときは、必ず取扱説明書等に示している指示を守る。その際には、シマノ純正部品の使用をお奨めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して重傷を負う恐れがあります。
- ユーザーマニュアルをよくお読みになった後、大切に保管してください。

バッテリーの取扱いについて

- バッテリーが漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受ける。放置すると液により、目に障害を与える原因になります。
- 充電は湿気の多い場所や、屋外では行わない。感電の恐れがあります。
- プラグの抜き差しは水に濡れた状態で行わない。感電の恐れがあります。もしプラグ内が濡れた場合には乾燥させた後に挿してください。
- 6時間を超えてバッテリーを充電している場合は、ただちにコンセントを抜いて、販売店へ相談する。発熱、破裂、発火の原因となります。
- 外装に目立ったキズや破損のあるバッテリーは使用しない。破裂・発熱・故障の原因となります。
- バッテリーの使用温度範囲は以下です。範囲外での使用はしない。範囲外での使用・保管は、発火・障害・故障の原因となります。
 1. 放電時：-10℃ ～ 50℃
 2. 充電時：0℃ ～ 40℃

お手入れについて

- メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。チェーンを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄する。錆び落とし等のアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は決して使用しない。これらを使用するとチェーンが破損し、重傷を負う恐れがあります。

注 意

安全に乗車するために

- 自転車の取扱説明書に従って、安全に走行する。

安全に使用するために

- 充電器が損傷していないか、特にコード、プラグおよび筐体を定期的に確認する。充電器が損傷している場合、修理するまでは絶対に使用しないでください。
- 製品は、安全責任を持つ人による監督や、製品の使用指導のもとで使用する。子供を含めて身体的、感覚的、精神的能力が減少している人、または経験や知識のない人には使用させないでください。
- 製品のそばで子供を遊ばせない。

バッテリーの取扱いについて

- バッテリーを直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内など、高い温度になる場所に放置しない。バッテリーを漏液させる原因になるおそれがあります。
- バッテリーの液が皮膚、衣類に付着した場合、ただちにきれいな水で洗い流す。皮膚に傷害を起こす原因となります。
- バッテリーは乳幼児やペットの手の届かないところに保管する。

お手入れについて

- 故障あるいは異常が発生した場合には最寄りの販売店にご相談ください。
- システムの改造はシステムに異常をきたす恐れがありますので絶対に行わないでください。

使用上の注意

安全に使用するために

- 使用していないコネクタには必ずキャップを取付けてください。
- 製品の取付け、調整は販売店にご相談ください。
- 製品は雨天走行に耐える防水設計になっていますが、水中にはつけないでください。
- 高圧洗車は行わないでください。水分の浸入により故障、あるいはサビの原因となります。
- 製品は丁寧な扱い強い衝撃を与えないでください。
- バッテリーを外した状態でも自転車として機能しますが、電気アシストシステムにライトが接続されている場合は点灯しません。この場合、ドイツにおける道路交通法を満たしませんのでご注意ください。

バッテリーの取扱いについて

- 車でアシスト自転車を送る際は、車両からバッテリーを外し、安定した場所に置いてください。
- バッテリーを取付ける際は、バッテリーと接続する部分（コネクタ部）に水が溜まっていないことを確認の上、接続してください。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内のみ有効です。

使用済みのバッテリー廃棄については、お住まいの地域のルールに従ってください。ご不明の場合は販売店または代理店にご相談ください。

ラベルについて

- このユーザーマニュアルに記載されている重要な情報の一部は機器ラベルにも記載されています。

お手入れについて

- バッテリーのキーに記載されているナンバーは、スペアキーを再購入する際に必要です。大切に保管してください。
- 製品のソフトウェアのアップデートは販売店にご相談ください。最新情報はシマノのホームページに公開されます。詳しくは「PCとの接続通信」の項を参照してください。
- 製品の清掃にシンナー等を使用しないでください。表面を破損する恐れがあります。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄してください。またチェーンを中性洗剤で洗浄し注油することも、ギア及びチェーンの寿命を延ばす効果があります。
- バッテリー、樹脂カバーのお手入れの際は、水で濡らした布をかたく絞って拭いてください。
- 取扱い方法およびメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の経年劣化は保証いたしません。

アシストについて

- チェーンの張りすぎなど、正しいセッティングが行われていない場合、適正なアシスト力を得られない場合がありますので、販売店にご相談ください。
- 製品は分解しないでください。分解すると、人体に危害を加える恐れがあります。

SHIMANO STePSとは

■ 特徴

- 軽量でコンパクトなデザイン
- サイレントでスムーズな乗り味
- 高い変速性能を持ったシステム (電動変速の場合)

正確なセンシングによるコンピュータ制御により、最適なアシスト力に調整して変速させるシステムです。

- Walk assistance 機能
- スタートモード (電動変速の場合)

これは信号などで停車する時に、あらかじめ設定しておいたギアに自動的にシフトダウンさせる機能で、走り出し時に軽いギアから発進できます。

■ 乗車方法

1. 電源をONにします。
2. お好みのアシストモードを選びます。
3. ペダルをこぐとアシストが開始されます。
4. 走行状況に合わせてアシストモードを変更してください。
5. 駐輪時は電源OFFにします。

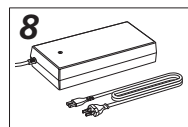
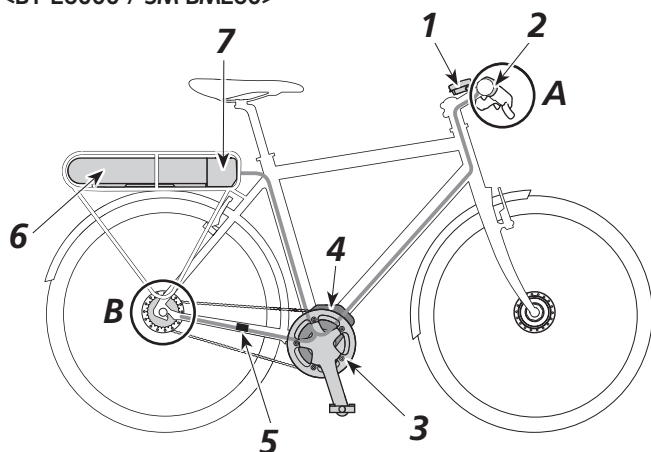
■ アシストモード

それぞれの用途に合わせて、SHIMANO STePSのアシストモードをお選びいただけます。

HIGH	NORMAL	ECO
		
急な上り坂など、パワフルなアシストが必要なときに使用します。	緩やかな上り坂や平地でも、中程度のアシストで、心地よい走りを楽しめます。	平地で長距離ライディングを楽しみたいときに使用します。強く踏んでいない場面のアシストを弱め、エネルギー消費を抑えます。
バッテリー残量が少なくなってきた時には、アシスト力を落として走行可能距離を伸ばすようになっています。		
OFF		
このモードは電源を入れているがアシストをしないモードです。アシストに関しての電力消費がないので、バッテリー残量が少なくなった時に、バッテリーの消費を抑えるのに有効です。		
WALK		
このモードは、重い荷物を載せて歩く時や地下室から自転車を押して出す時に有効な機能です。		

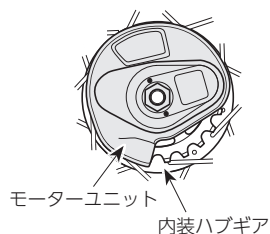
各部の名前と働き

<BT-E6000 / SM-BME60>

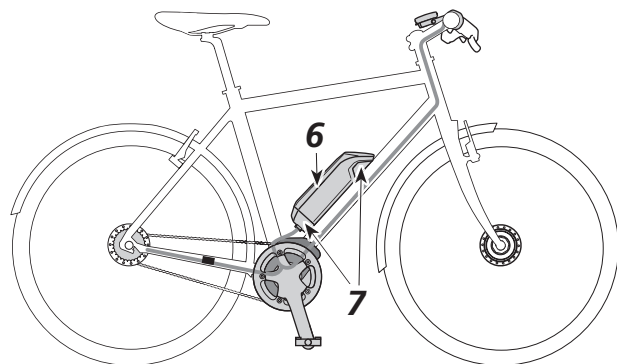


<電動変速の場合>

A	シフトスイッチ	SW-E6000
	モーターユニット	MU-S705
B	内装ハブギア	SG-C6060
		SG-S705
		SG-S505



<BT-E6010 / SM-BME61>



1	サイクルコンピュータ	SC-E6000	5	スピードセンサー	
2	アシストスイッチ	SW-E6000	6	バッテリー	BT-E6000 / BT-E6010
3	フロントギア/クランクアーム	FC-E6000 / SM-CRE60	7	バッテリーホルダー	SM-BME60 / SM-BME61
4	ドライブユニット	DU-E6000 / DU-E6001	8	充電器	SM-BCE60

仕様

使用環境温度：放電時	-10 – 50℃	公称容量	11.6 Ah
使用環境温度：充電時	0 – 40℃	定格電圧	36 V DC
保管温度	-20 – 70℃	ドライブユニット方式	ミッドシップ
保管温度 (バッテリー)	-20 – 60℃	モータータイプ	Brush-less DC
充電電圧	100 – 240 V AC	ドライブユニット定格出力	250W
充電時間	約4時間	ドライブユニット最大出力	500W
バッテリータイプ	リチウムイオンバッテリー		

ご使用方法

■ はじめに

出荷状態では、バッテリーはすぐに使用できる状態ではありません。

専用充電器で充電することでバッテリーが使用可能になります。

必ず充電してから使用してください。バッテリー上のLEDが点灯すれば使用可能です。

■ バッテリーの充電

1. 充電器のプラグをバッテリー本体の充電器コネクタに挿入します。

コネクタの凹みがある側を上にして差し込んでください。

* 凹部を下にした状態では差し込みません。

⚠ 危険

- 充電は当社指定のバッテリーと充電器の組み合わせで行い、当社指定の充電条件を守る。さもないと発熱、破裂、発火の原因となります。



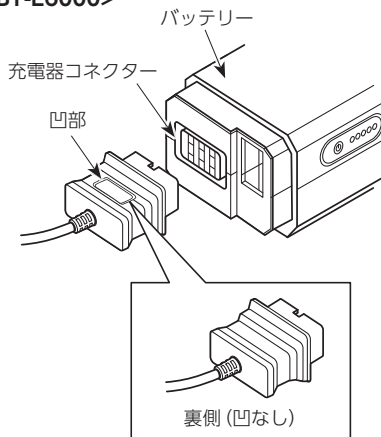
新車の状態で長期保存する場合は、使用を開始する直前に充電してください。一度充電すると、バッテリーの劣化が始まります。

2. 充電が開始されると、充電器のLEDランプが点灯します。

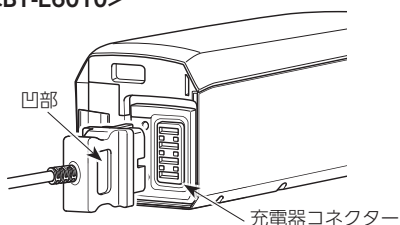
バッテリー側のバッテリー残量表示ランプで、現在の充電状況を確認できます。

● 点灯	充電中 (充電完了後1時間以内)
☀ 点滅	充電エラー
● 消灯	バッテリー未接続 (充電完了後1時間以上経過)

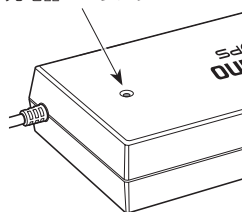
<BT-E6000>



<BT-E6010>



充電器LEDランプ



バッテリー残量表示ランプ



■ バッテリー残量表示

充電中表示

バッテリー残量表示*1	バッテリーレベル
	0%～20%
	21%～40%
	41%～60%
	61%～80%
	81%～99%
	100%

*1 ●：無灯 ○：点灯 ：点滅

残量確認表示

バッテリー残量表示*1	バッテリーレベル
	100%～81%
	80%～61%
	60%～41%
	40%～21%
	20%～1%
	0%
	電源OFF／シャットダウン

*1 ●：無灯 ○：点灯 ：点滅

■ バッテリーの上手な使い方

充電はバッテリー残量によらず自由に行えますが、以下の場合、満充電まで一気に充電してください。その際、必ず専用充電器を使用してください。

- 購入した状態ではバッテリーは満充電されていません。走行する前に必ず満充電まで充電してください。
- 自転車を長期間使用しない場合は、バッテリーを充電してから保管してください。

バッテリーを完全に放電しきった際は、速やかに充電してください。そのまま放置した場合、バッテリーの劣化が進行します。

- 長期間自転車に乗らない場合は、定期的に充電するようにしてください。また、完全放電をしないようにしてください。

■ バッテリーの取付け／取外し

鍵の使い方

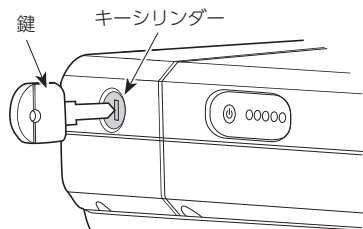
鍵は仕様が複数種類あるため、下記の説明と異なる場合があります。

1. バッテリーホルダーのキーシリンダーに鍵を差し込みます。

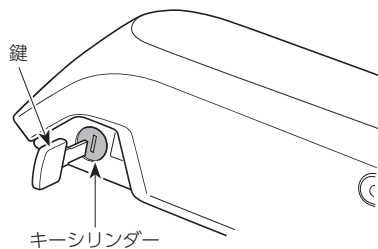


- バッテリーを差し込む際に鍵の位置は影響しません。どの位置でも差し込み可能です。
- 差し込み位置以外の角度では、鍵を抜くことができません。

<BT-E6000>



<BT-E6010>

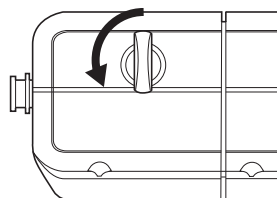


2. あたりを感じるまで鍵を回してバッテリーのロックを外します。

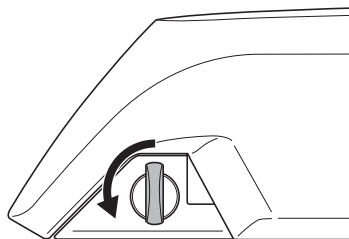
注 意

脱着防止のために、鍵を差したまま走行しないでください。

<BT-E6000>



<BT-E6010>



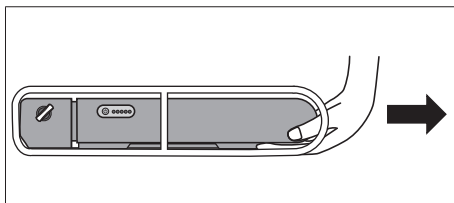
バッテリーの取外し方

<BT-E6000>

電源をオフにしてから鍵を開錠位置まで回転させて、バッテリーを後方へ引き抜きます。



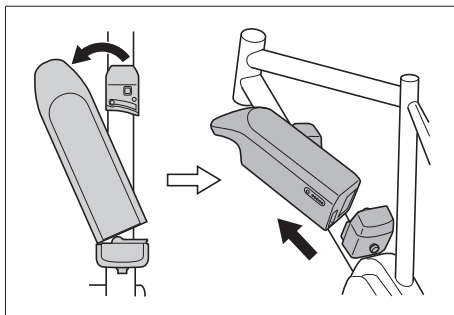
バッテリーは、鍵を開錠位置にしたときにのみ取外せます。



<BT-E6010>

電源をオフにしてから、鍵を開錠位置まで回転させます。

バッテリーの上部を持ち、左にスライドさせて取外します。



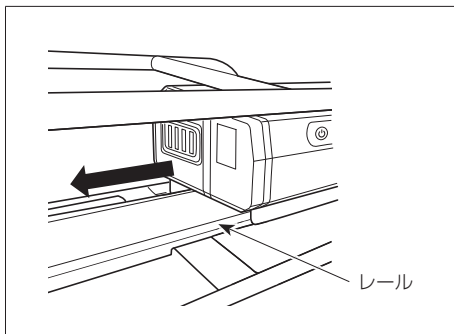
バッテリーの取付け方

<BT-E6000>

1. バッテリーを後方からホルダーのレールに差し込み、前方向にスライドさせます。しっかりと押し込んでください。
2. 鍵をロック位置に戻し、引き抜いて安全な場所に保管してください。

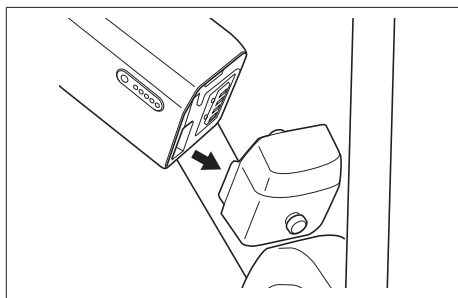
注 意

バッテリーがロックされていることを確認してから走行してください。

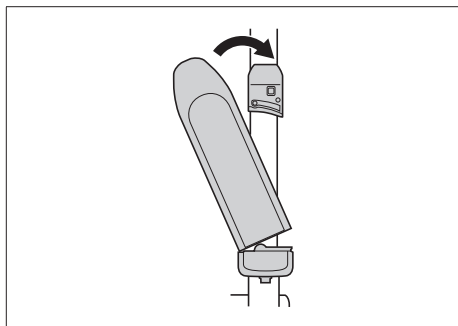


<BT-E6010>

1. バッテリー底部にある凹部とホルダーの凸部を合わせて差し込みます。



2. 差し込み部分を支点にしてバッテリーを右側にスライドさせます。カチッと音がするまで押し込んでください。
3. 鍵をロック位置に戻し、引き抜いて安全な場所に保管してください。



注 意

バッテリーがロックされていることを確認してから走行してください。

■ 電源のON/OFF

電源がONまたはOFFの状態ですべての電源ボタンを1回押します。電源ONの時にインジケータが全点灯します。

注 意

電源を入れる際には、バッテリーがホルダーにしっかりと固定されていることを確認してください。



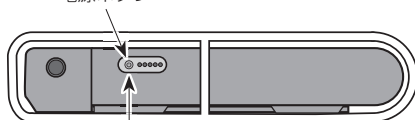
電源のON/OFFをする際には、ペダルに足をかけないでください。

自動電源OFF機能

停車状態が10分を超えると電源が自動的に切れます。

<BT-E6000>

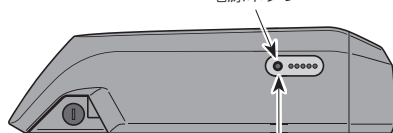
電源ボタン



1回押す

<BT-E6010>

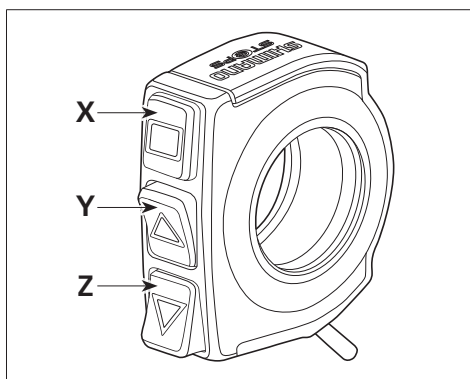
電源ボタン



1回押す

■ モードの切り替え方

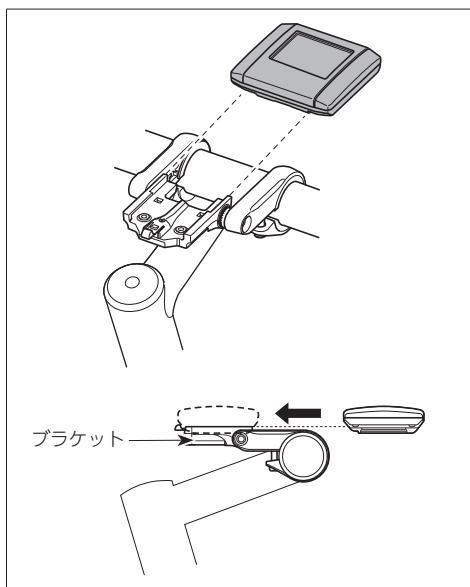
X	サイクルコンピュータの表示切替
Y	アシスト切替時：アシスト力が強くなる 変速切替時：ペダリングが重くなる
Z	アシスト切替時：アシスト力が弱くなる 変速切替時：ペダリングが軽くなる



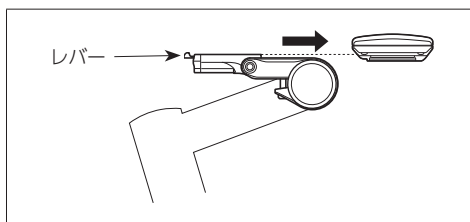
■ サイクルコンピュータの取付けと取外し

図のようにサイクルコンピュータをブラケットにスライドさせて取付けます。

パチッと音がするまで確実に差し込んでください。



取外すときは、ブラケットのレバーを強く押しながらサイクルコンピュータをスライドさせて取外してください。

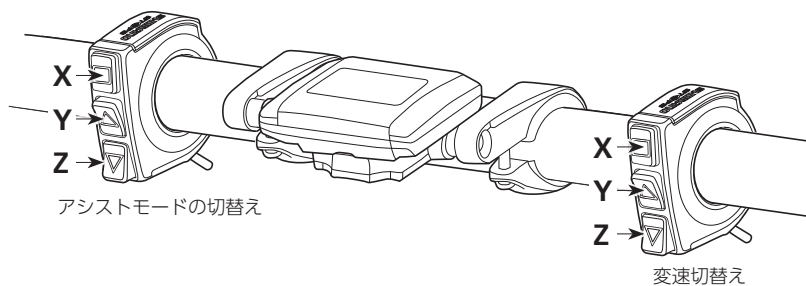
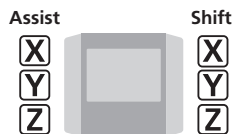


サイクルコンピュータがきちんとはまっていない場合、アシストは正常に動作しません。

各種設定を変更する

■ サイクルコンピュータの操作方法

サイクルコンピュータの画面は、左右のアシストスイッチにあるボタンX・Y・Zを使用して操作します。



ここに記載されている操作方法は、サイクルコンピュータの設定値が初期設定の場合で説明しています。

■ SHIMANO STePSロゴ画面

システム起動時に表示される画面です。



■ 基本画面表示

アシスト自転車の状態や、走行情報を表示します。



1. 現在速度

現在の速度を表示します。

2. 現在時刻

現在の時刻を表示します。

3. バッテリー残量表示

現在のバッテリー残量を、6段階で表示します。

* 6の走行情報表示が「RANGE」の際は、バッテリー残量表示が行われません。

4. 速度単位表示

km/hとmphを切替え可能です。

* バッテリー残量表示

乗車中はサイクルコンピュータ上でバッテリー残量を確認することができます。

表 示	バッテリーレベル
	81～100%
	61～80%
	41～60%
	21～40%
	1～20%
	0%

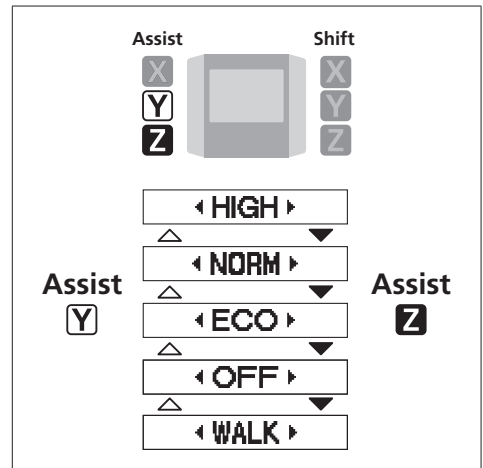


5. アシストモード表示切替

現在のアシストモードを表示します。

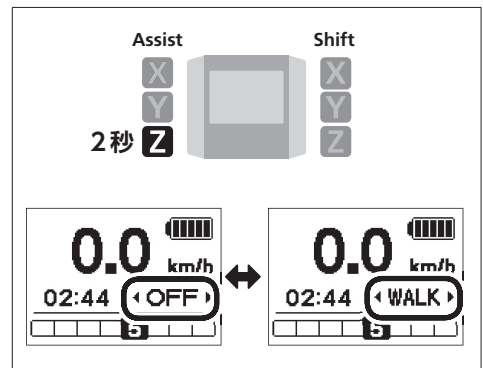
アシストスイッチのAssist-Y、Assist-Zを押してアシストモードを切り替えます。

表 示	内 容
◀ HIGH ▶	アシスト 強
◀ NORM ▶	アシスト 中
◀ ECO ▶	アシスト 弱
◀ OFF ▶	アシスト 切
◀ WALK ▶	ウォークアシスト



<ウォークアシストモード>

1. Assist-Zを押してモードをOFFに切り替えます。
2. 「WALK」が表示されるまで、再度Assist-Zを2秒間長押しします。
3. Assist-Zを長押ししてウォークアシストを開始します。

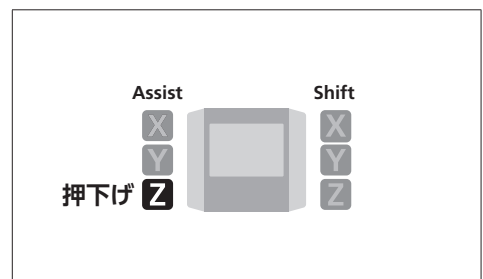


「WALK」表示時に、アシストスイッチのAssist-Zを押下げるとウォークアシストが開始します。

Assist-Zを離すと、ウォークアシストが停止します。または、Assist-Yを押すとウォークアシストが停止します。



Assist-Zが1分以上操作されない場合、モードが「OFF」に切り替わります。





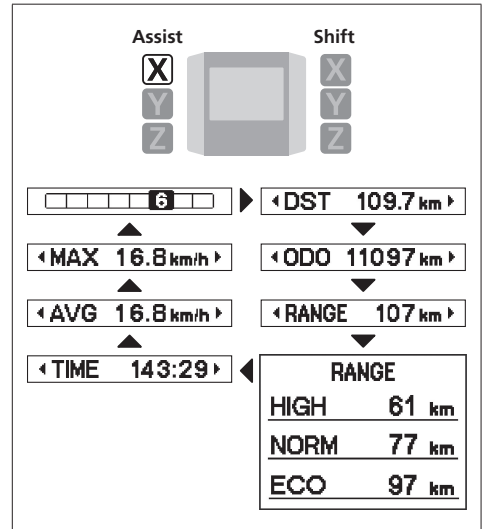
-
- ウォークアシストの動作開始後自転車が進まない場合、ウォークアシストは自動的に停止します。ウォークアシスト停止後は、一旦アシストスイッチを離し、再度Assist-Zを押し下げるとアシスト動作が再開します。
 - ウォークアシストの上限速度は、6km/hです。
 - 段数によって、アシスト力と速度が変化します。
-



6. ギア段数、走行情報の表示

現在のギア段数、または走行情報を表示します。
Assist-Xを短押しする毎に走行情報の表示が切り替わります。

表 示	内 容
	ギア段数 (モーターユニット接続時のみ表示)
	ギア段数*4 (スタートモード設定時)
◀DST 109.7 km▶	走行距離
◀ODO 11097 km▶	積算距離
◀RANGE 107 km▶	走行可能距離*1 *3
RANGE HIGH 61 km NORM 77 km ECO 97 km	走行可能距離 (オプション)*2
◀TIME 143:29▶	走行時間 (オプション)*2
◀AVG 16.8 km/h▶	平均速度 (オプション)*2
◀MAX 16.8 km/h▶	最大速度 (オプション)*2



*1 「RANGE」表示の際は、**3.**のバッテリー残量 / **5.**のウォークアシストが表示されません。また、走行可能距離は参考値です。

*2 オプション項目：E-tube Projectで表示の設定ができます。詳しくは「PCとの接続通信」の項目を参照してください。

*3 ウォークアシスト動作中、「RANGE」の画面表示は「-」になります。

*4 スタートモード使用時のスタートギア位置が表示されます。

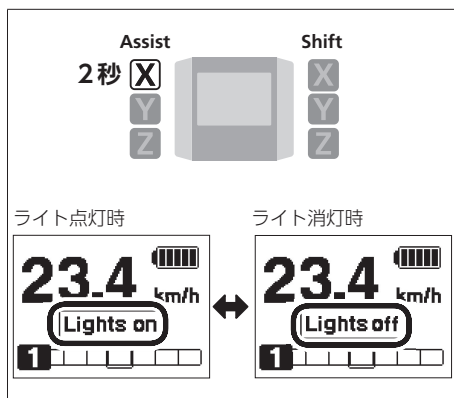
バッテリー駆動ライトの点灯/消灯方法

バッテリー駆動ライトを接続しているときに Assist-X を 2 秒間押し続けると、時刻表示とアシストモード表示に代わって表示されます。表示される毎にライトの点灯と消灯が切り替わります。表示時間は約 2 秒間です。



ライトの点灯消灯は、バッテリー本体電源のON/OFFと連動します。

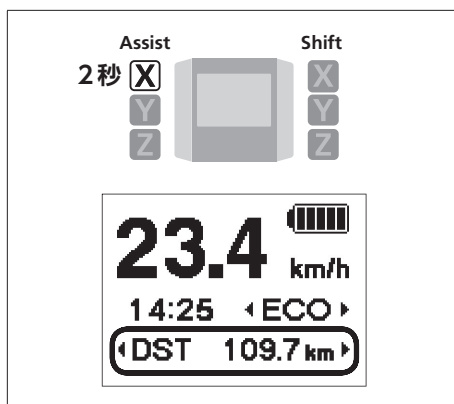
本体の電源がOFFのときにライトは点灯しません。



走行距離のクリア方法

ライトが接続されていない場合、メイン画面で走行距離のクリアが実行できます。バッテリー駆動ライトが接続設定されている場合は、「設定の変更方法」-「設定クリア(Clear)」を参照して走行距離のクリア (DST) を行ってください。

1. 走行情報表示をDST表示にして、Assist-Xを2秒間押し続けます。



2. DST表示部が点滅を始めたら指を離します。その状態でもう一度Assist-Xを押すと走行距離がクリアされます。



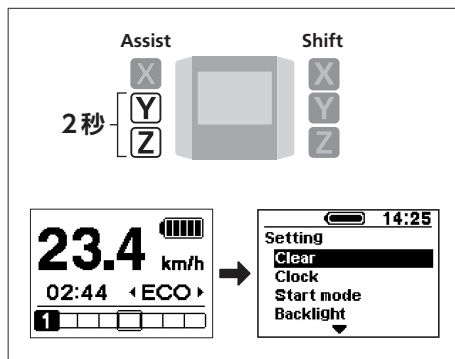
- 5秒間放置すると、DST表示の点滅が終了して、基本画面に戻ります。
- 走行距離のクリアを行うと、TIME・AVG・MAXも同時にクリアされます。



■ 設定メニューの起動と終了

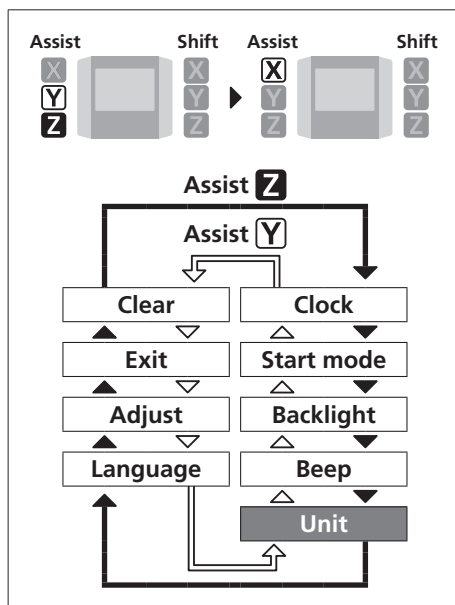
起動方法

1. 停車状態で、Assist-YとAssist-Zを同時に2秒長押しすると、設定画面が表示されます。



2. Assist-YまたはAssist-Zを押して、設定したい項目にカーソルを移動します。
Assist-Xを押すと選択した項目の設定画面を表示します。

項目	内容
Clear	設定クリア
Clock	時計設定
Start mode	スタートモード設定
Backlight	バックライト設定
Beep	ビーブ設定
Unit	km / mile切り替え
Language	言語設定
Adjust	電動変速ユニットの変速調整
Exit	メイン画面に戻る



終了方法 (Exit)

1. Assist-YまたはAssist-Zを押して、カーソルを「Exit」の位置に移動します。
2. Assist-Xを押すと、設定メニューを終了し、基本画面に戻ります。

■ 設定の変更方法

言語設定 (Language)

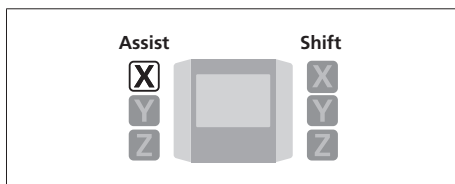
言語の設定を行います。

1. Assist-YまたはAssist-Zを押して、設定したい項目にカーソルを移動します。

項 目
English
Français
Deutsch
Nederlands
Italiano
Español



2. Assist-Xを押すと、カーソルのある設定値が有効となり、「設定メニュー」画面に戻ります。



電動変速ユニットの変速調整 (Adjust)

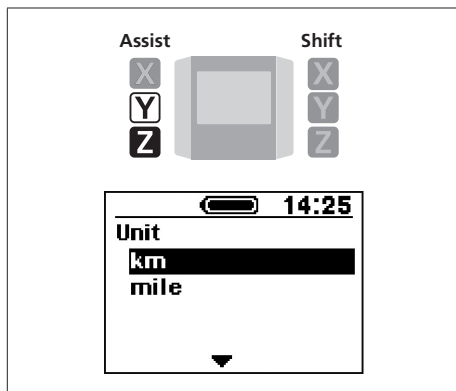
内装電動変速ユニットを接続している場合のみ、変速調整が可能です。
変速機を調整される場合は、購入された販売店にご相談ください。

km / mile切り替え (Unit)

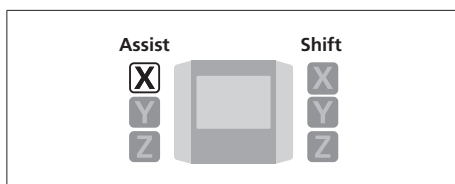
距離単位の設定を行います。

1. Assist-YまたはAssist-Zを押して、設定したい項目にカーソルを移動します。

項 目	内 容
km	km表示
mile	mile表示



2. Assist-Xを押すと、カーソルのある設定値が有効となり、「設定メニュー」画面に戻ります。

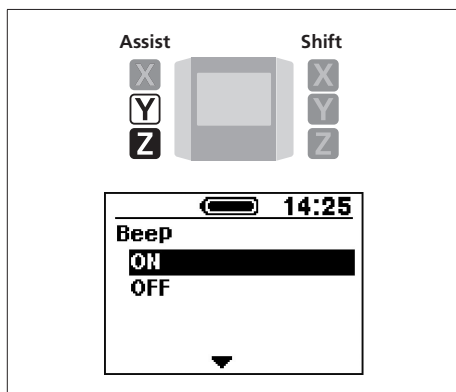


ビープ設定 (Beep)

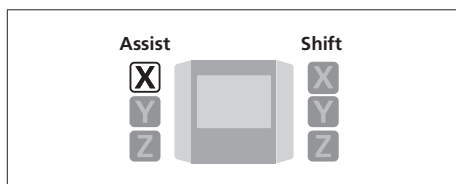
ビープの設定を行います。

1. Assist-YまたはAssist-Zを押して、設定したい項目にカーソルを移動します。

項 目	内 容
ON	操作によるビープ音を鳴らす
OFF	操作によるビープ音を鳴らさない



2. Assist-Xを押すと、カーソルのある設定値が有効となり、「設定メニュー」画面に戻ります。

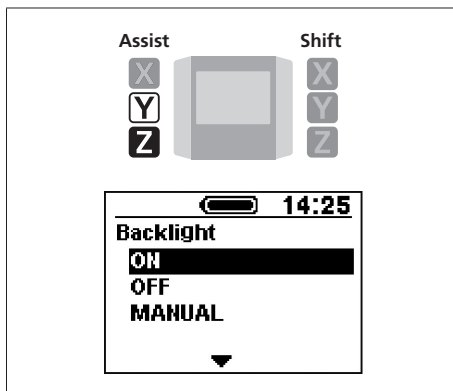


バックライト設定 (Backlight)

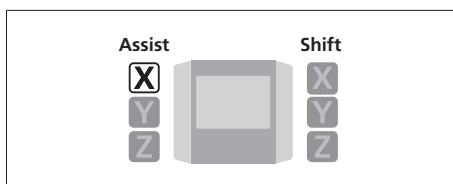
バックライトの設定を行います。

1. Assist-YまたはAssist-Zを押して、設定したい項目にカーソルを移動します。

項 目	内 容
ON	常時点灯
OFF	常時消灯
MANUAL	バッテリー駆動ライトのON/OFFに連動する



2. Assist-Xを押すと、カーソルのある設定値が有効となり、「設定メニュー」画面に戻ります。

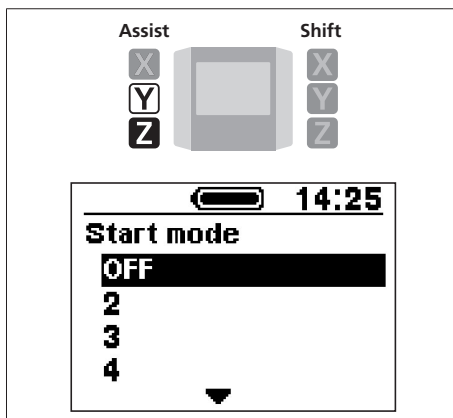


スタートモード設定 (Start mode)

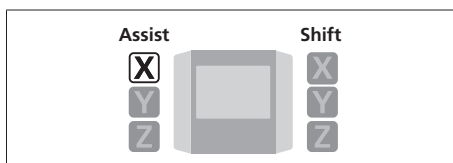
スタートモード使用時のスタートギアを設定します。

1. Assist-YまたはAssist-Zを押して、設定したい項目にカーソルを移動します。

項 目	内 容
OFF	設定なし
2	2 速
3	3 速
4	4 速
5	5 速



2. Assist-Xを押すと、カーソルのある設定値が有効となり、「設定メニュー」画面に戻ります。



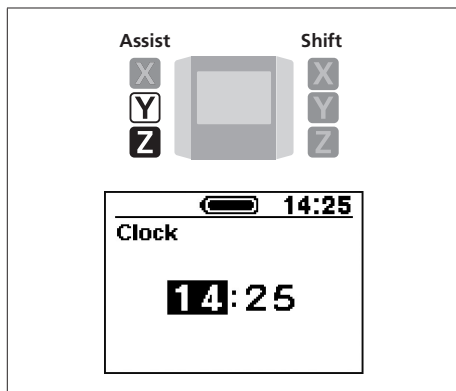
時計設定 (Clock)

時刻の設定を行います。

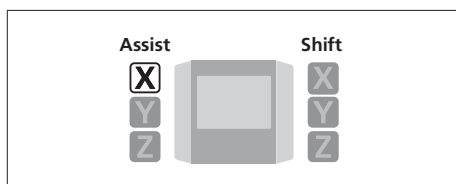
1. Assist-YまたはAssist-Zを押して現在時を合わせます。



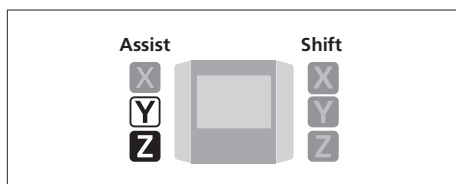
Assist-Yを押すと時間が進みます。
Assist-Zを押すと時間が戻ります。



2. Assist-Xを押すと、その設定が有効となり、分の設定へ移動します。



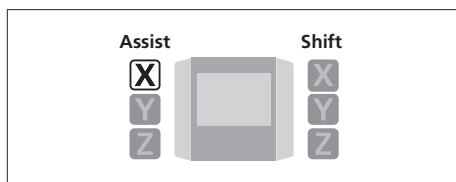
3. Assist-YまたはAssist-Zを押して、分を合わせます。



4. Assist-Xを押すと、設定が有効になり、「設定メニュー」画面に戻ります。



Assist-YとAssist-Zは、長押しすることで、高速に数字を切り替えることができます。



設定クリア (Clear)

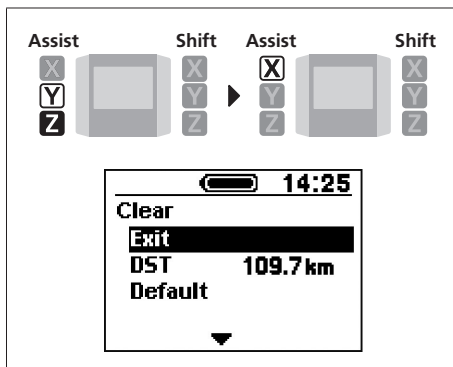
走行距離をクリアする。または表示設定をデフォルト値に戻します。

1. Assist-YまたはAssist-Zを押して、設定したい項目にカーソルを移動します。

項 目	内 容
Exit	設定メニュー画面に戻る
DST	走行距離クリア
Default	SC表示設定をデフォルト値に戻す

SC表示設定で設定されるデフォルト値

項 目	デフォルト値
Backlight	ON
Beep	ON
Unit	km
Language	English



2. Assist-Xを押すと、カーソルのある設定値が有効となり、「設定メニュー」画面に戻ります。



走行距離のクリアを行うと、TIME・AVG・MAXも同時にクリアされます。

■ アプリケーションのダウンロード

SHIMANO STePSの設定やファームウェアアップデートを行うには、E-tube Projectが必要です。
サポートサイト (<http://e-tubeproject.shimano.com>) にアクセスし、E-tube Projectをダウンロードしてください。

E-tube Projectのインストール方法はサポートサイトをご確認ください。またPCの操作方法はE-tube Projectのヘルプマニュアルを参照してください。



-
- SHIMANO STePSをPCと接続する際は、SM-PCE1およびSM-JC40/JC41が必要です。
 - ファームウェアは予告なく変更される場合があります。
必要がある場合は販売店にご相談ください。
-

■ バッテリー残量表示 エラー表示

エラー表示種別	表示条件	点灯パターン *1	復帰方法
システムエラー	自転車システムとの通信異常		ケーブルが抜けていないか、配線が間違えていないかを確認してください。 状況が回復しない場合は、販売店に問い合わせてください。
温度保護	温度が動作保証範囲を超えた場合、バッテリーの出力を停止します。		直射日光を避けた涼しい場所で、バッテリー内部温度が十分下がるまで放置してください。 状況が回復しない場合は、販売店に問い合わせてください。
セキュリティ認証エラー	正規のドライブユニットが接続されていない場合に表示されます。 ケーブルが一部断線している場合に表示されます。		正規のバッテリーとドライブユニットを接続させてください。 ケーブルの状態を確認してください。 状況が回復しない場合は、販売店に問い合わせてください。
充電エラー	充電中に異常があった場合に表示されます。		バッテリーと充電器の接続コネクターを取除き、バッテリー単体で、電源スイッチを押してください。 バッテリー単体でエラーが表示された場合は、販売店に問い合わせてください。
バッテリー故障	バッテリー内部の電気異常		一端充電器に接続した後に取外し、バッテリー単体の状態で電源スイッチを押してください。 バッテリー単体でエラーが表示された場合は、販売店に問い合わせてください。

*1 ●：無灯 ○：点灯 ：点滅

■ サイクルコンピュータエラーメッセージ

警告

状況が解消すると消える表示です。
時刻表示に代わってメッセージが表示されます。



警告一覧

コード	発生状況	警告表示中の 動作制限解除条件	対処方法
W010	ドライブユニットが高温になっています。	アシスト力が低下します。	ドライブユニットの温度が低下するまで、アシスト走行を中止してください。 状況が回復しない場合は、販売店に問い合わせてください。
W011	走行速度が検出できていません。	アシスト上限速度が低下します。(最高ギア段数で25km/hまでアシスト走行が可能です。)	車速センサーが正しく取付けられているか確認してください。 状況が回復しない場合は、販売店に問い合わせてください。
W030	アシストスイッチがシステムに2つ以上接続されています。	電気式変速機の場合、変速ができません。	アシストスイッチをシフトスイッチに変更する。 もしくは、アシストスイッチ1台のみを接続し、電源を入れ直してください。 状況が回復しない場合は、販売店に問い合わせてください。
-	ドライブユニットとモーターユニット間の通信異常が検出されました。	電気式変速機の場合、変速ができません。	ドライブユニットとモーターユニット間のケーブルが正しく接続されているか確認してください。 状況が回復しない場合は、販売店に問い合わせてください。

エラー

画面全体にエラー表示が出た場合、下記いずれかの方法で表示のリセットを行ってください。

- バッテリーの電源スイッチを押す。
- バッテリーをホルダーから外す。



リセットを行っても解消されない、または現象が頻発する場合は販売店にご相談ください。



エラー一覧

コード	発生状況	エラー表示中の動作制限	対処方法
E010	システム異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	バッテリーの電源スイッチを押して電源を入れ直してください。 状況が回復しない場合は、販売店へご相談ください。
E012	トルクセンサーの初期調整に失敗しました。	アシスト走行ができません。	ペダルから足を離した状態でバッテリーの電源スイッチを押して電源を入れ直してください。 状況が回復しない場合は、販売店へご相談ください。
E020	バッテリーとドライブユニット間の通信異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	ドライブユニットとバッテリー間のケーブルが正しく接続されているか確認してください。 状況が回復しない場合は、販売店へご相談ください。
E030	設定異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	バッテリーの電源スイッチを押して電源を入れ直しても状況が回復しない場合は、販売店へご相談ください。

■ こんなときは

アシスト機能

症状	原因 / 可能性	対策
アシストされない。	バッテリー残量は十分ですか？	バッテリー残量を確認し、残量が少ない場合、充電を行ってください。
	夏場の長い坂道や重い荷物を積載して長時間走行していませんか？ オーバーヒートの可能性があります。	電源をOFFにし、しばらく経ってからもう一度確認してください。
	ドライブユニット (DU-E6000 / DU-E6001)、サイクルコンピュータ (SC-E6000)、アシストスイッチ (SW-E6000) のいずれかの接続が正しくない、あるいは故障している可能性があります。	販売店へご相談ください。
	スピードを出しすぎていませんか？	サイクルコンピュータの表示を確認してください。25km/h以上ではアシストされません。
アシストされない。	ペダルをこいでいますか？	自動二輪車ではありませんので、ペダルをこいでください。
	アシストモードがOFFになっていませんか？	アシストモードをHIGHにしてください。それでもアシスト感がない場合、販売店へご相談ください。
	サイクルコンピュータの電源はONになっていますか？	電源スイッチを長押しし、電源をONにしてください。それでもアシスト感がない場合は、販売店へご相談ください。
アシスト走行距離が短い。	道路条件や変速位置、ライトの点灯時間により走行距離が短くなります。	バッテリー残量を確認し、残量が少ない場合、充電を行ってください。
	冬期はバッテリーの特性上性能が低下します。	異常ではありません。
	バッテリーは消耗品です。繰り返しの充電や長時間の使用でバッテリーは劣化 (性能低下) します。	1回の充電で走行できる距離が著しく短い場合は新しいバッテリーに交換してください。
ペダルが重い。	タイヤの空気圧は十分ですか？	ポンプで空気を入れてください。
	アシストモードがOFFになっていませんか？	アシストモードをHIGHにしてください。それでもアシスト感がない場合、販売店へご相談ください。
	バッテリー残量が少ない可能性があります。	十分に充電した後に再度アシスト力の確認を行ってください。それでもアシスト感がない場合、販売店へご相談ください。
	ペダルに足を乗せた状態で電源を入れませんでしたか？	ペダルに負荷をかけずに電源を入れ直してください。それでもアシスト感がない場合、販売店へご相談ください。

バッテリー

症状	原因 / 可能性	対策
バッテリー残量表示ランプが5つすべて点灯したままになっている。	自転車に装着した状態ではバッテリー残量を表示しません。充電時に表示します。	故障ではありません。
バッテリーがすぐになくなる。	バッテリーの寿命の可能性がります。	バッテリーを新しいものに交換してください。
充電できない。	充電器の電源プラグは確実に接続されていますか？	充電器の電源プラグを抜き差ししてから、再度充電してください。 それでも充電出来ない場合は販売店にご相談ください。
	充電器の充電プラグはバッテリーに確実に差し込んでありますか？	充電器の充電プラグを抜き差ししてから、再度充電してください。 それでも充電出来ない場合は販売店にご相談ください。
	充電器とバッテリーの接続端子が汚れていませんか？	接続端子を乾拭きし、汚れを落としてから再度充電してください。 それでも充電出来ない場合は販売店にご相談ください。
充電器を接続しても充電中の状態にならない。	バッテリーの寿命の可能性がります。	バッテリーを新しいものに交換してください。
バッテリーや充電器が熱くなる。	バッテリーや充電器の温度が、使用温度範囲を超えている可能性があります。	充電を中止し、しばらく経ってからもう一度充電してください。手が触れられないほど熱い場合は異常です。販売店へご相談ください。
充電器が熱い。	連続で数個のバッテリーを充電すると充電器は熱くなる場合があります。	間隔をあけて充電してください。
充電器のLEDが点灯しない。	充電器の充電プラグはバッテリーに確実に差し込んでありますか？	接続部に異物が付着していないかを確認して、充電コネクタを差し込みなおしてください。変化がない場合は販売店にご相談ください。
	バッテリー残量は満充電されていますか？	バッテリーが満充電された場合、充電器のLEDは消灯しますが異常ではありません。充電器の電源プラグを抜き差ししてから、再度充電してください。 それでも充電器のLEDが点灯しない場合は販売店にご相談ください。
バッテリーが抜けなくなった。		販売店へご相談ください。
バッテリーが差し込めない。		販売店へご相談ください。
バッテリーから液体が出てきた。		販売店へご相談ください。
異臭がする。		ただちに使用を中止し、販売店へご相談ください。
煙が出た。		ただちに使用を中止し、販売店へご相談ください。

ライト

症状	原因 / 可能性	対策
フロントライトまたはテールライトがスイッチを押しても点灯しない。	E-tube Projectの設定が正しくない可能性があります。	販売店へご相談ください。

サイクルコンピュータ

症状	原因 / 可能性	対策
電源スイッチを押してもサイクルコンピュータが表示されない。	バッテリー残量が不足している可能性があります。	バッテリーを充電してから、再度電源をONにしてください。
	電源はONになっていますか？	電源スイッチを長押しし、電源をONにしてください。
	サイクルコンピュータはブラケットに正しく取付けられていますか？	「サイクルコンピュータの取付けと取外し」をご参照の上、正しく取付けてください。
	エレクトリックワイヤーのコネクターは正しく取付けられていますか？	モーターユニットとドライブユニットをつないでいるエレクトリックワイヤーのコネクターが抜けていないか確認してください。わからない方は販売店へご相談ください。
ギア位置が表示されない。	ギア位置は電動変速ユニットが装着されている場合のみ表示されます。	エレクトリックワイヤーのコネクターが抜けていないか確認してください。わからない方は販売店へご相談ください。
ビープ音を消したい。		設定を変更してください。 「ビープ設定 (Beep)」参照。
バックライトを消したい。		設定を変更してください。 「バックライト設定 (Backlight)」参照。
走行中に設定メニューが起動できない。	走行状態を認識すると設定メニューが起動できない仕様です。異常ではありません。	停車して設定を行ってください。

その他

症状	原因 / 可能性	対策
スイッチを押したときに「ピッピッ」と音が2回鳴りスイッチの操作ができない。	押したスイッチの操作は禁止されています。	故障ではありません。
音が「ピッピッピッ」と3回鳴る。	エラーまたは警告が発生しています。	サイクルコンピュータに警告またはエラーが表示されています。「サイクルコンピュータエラーメッセージ」の項を参照して、該当コードの記載に従ってください。
電動変速モデル使用時、変速の際にアシスト力が弱くなる気がする。	コンピュータ制御により、アシスト力を最適な状態に調整しているためです。	故障ではありません。
変速後に音がする。		販売店へご相談ください。
通常走行時に後ろ車輪から音鳴りがする。	変速調整が正確ではない可能性があります。	機械式変速の場合 ケーブルの張りを調整してください。詳しくは変速機の取扱説明書をご覧ください。 電動式変速の場合 販売店へご相談ください。
停車時にスタートモードで設定されたギア段数まで変速しない。	ペダルを強く踏んでいた可能性があります。	ペダルにかける力を軽くすると変速しやすくなります。

*** キーナンバー**

キーについているナンバーはスペアキーを購入する際に必要です。
下記の欄にご記入いただき、大切に保管してください。

キーナンバー



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 シマノ

堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577